

道路建設工事における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	消雪送水管の漏水箇所を補修の為、送水管保護の為のコンクリートを削岩機にて研り作業中、削岩機の矢先が飛び右足の甲の部分に当たる。	44~9	1
2	16~17	道路の舗装工事でバックホウが稼働しているところに近寄り過ぎ、その上、足を滑らせた為にバックホウと接触して左足を負傷してしまった。	24~29	10
4	8~9	草刈り機にて草刈作業中に、段差にはまり機械から振り落とされて転落し、ハンドルレバーが手に引っ掛かり、草刈り機のレバーがバッグギヤに入ってしまう、自分の方に向かってきて轢かれた。	59~29	10
6	11~12	抜根・掘削時、バックホウの爪交換作業中にセットハンマーのヘッド部分と柄が離れてしまい、ヘッド部分が左手中指に当たり、被災した。	38~49	30
6	15~16	舗装現場町道でユンボはセメント処理（不陸整正）、被災者はその後方で地盤を均す手作業中、ユンボとの間隔があまりなかったことと、もう一台のユンボが作動中で、被災者はバックしてくるユンボの音に気付かず、接触し事故に至った。ユンボ運転手の周りの安全確保と、被災者の機械作業エリアへの接近が原因と思われる。	47~29	10
7	11~12	道路改良工事に伴う舗装工事の施工中に作業員が後進してきた転圧機械に気付き退避しようとしたところ、既設舗装と路盤面の段差5cmにつまずき転圧機械に左足甲部が接触した。	65~29	10
	12~	宅地造成区画道路で舗装工事中道路上の合材をスコップで清掃していたところ、ア		10

9	13	スファルトフィニッシャーの運転手が被災労働者に気づかずに前進させたため左足を轢かれ骨折したものの。	53	～ 29
10	9～ 10	埋立工事の岸壁で吸い出し防止材（エンドレスマットW=300m/m、L=3m）の取付作業をしているとき、バックホー（0.14?）がエンドレスマットの取付位置の調整のために、それをバケツで押さえていた。調整が終わったので、被災者が吸い出し防止材を右手で押さえた。バックホーのバケツで離そうとしたときにそれが被災者側に動き、コンクリートとバケツの間で右手示指の先端を挟んだ。	48	～ 9
11	14～ 15	施設内で、アスファルトフィニッシャー近くで合材の敷き均し作業をしていたところ、締め固めをしていた4tタンデムローラーがバックしてきて、ローラーの後輪が被災者の右足に乗り上げてしまった。	55	～ 29
11	11～ 12	整理事業地内の道路新設舗装現場にて、路盤碎石敷均し作業中、前方方面造成のため重機を後退させていた時、重機周辺で敷均し手作業を行っていた作業員が重機の接近に気付かず、重機のキャタピラが作業員の足に当たり、作業員は脛骨を骨折した。	69	～ 29
11	14～ 15	道路改良工事の作業所内で歩道アスファルト舗装の撤去作業時に当社作業員の被災者は、当日撤去したアスファルトくず集積の折、当社重機オペレーターが操作するバックホー（0.13?）のバケツにて背中を押され負傷した。作業時オペレーターの周囲の確認と、重機作業範囲内立入禁止の周知徹底不足にて事故を招いた。	16	～ 29
12	8～9	横断地下道掘削作業の重機足場に使用するため、敷鉄板（1.5m×3.0m、t=22mm）をクレーンにて移動・仮置きする際、鉄板が倒れる方向に誤って退避し、逃げようとしたが間に合わず、置かれていた水タンクと鉄板との間に右足を挟まれた。	54	～ 9
12	14～15	本工事ブロック積の取り付け石積を作業中、移動式クレーンで約30kgの間知石をワイヤーロープで吊り降ろし、ワイヤーから外したときに右足に転び、打撲した。	66	～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)

